

年 度	2021 年度		
科 目	電子回路応用 I		
担 当	松尾 雅純	使用教室	32 教室
実務経験	松下電器産業(株)(現パナソニック)にてガス機器商品の物作りを30年間、営業所(OBPにて)で8年間、営業窓口、販売計画と促進業務を担当する。		
種 別	▽前期 ・ 後期 ・ 通年		
到達目標	自らのアイデアと工夫をして自分好みの電気製品を作り上げる。自分で設計するもよし、参考書等を真似るもよし、自由に製品を作り上げて自作の楽しみ、喜びを感じ取る。		
資格実施月	無し		
評価方法	定期考査(各期の中間、期末)の成績(70%)と平常点(出席状況、授業態度等)30%の合計点		
教科書等	電気工作の職人技 (高瀬和則著)		
授業計画	<p>電気回路図を見て、その機能、構造を理解してそれを一つの「物」として各部品を組み合わせて商品化させる。オリジナリティの有る物作りで完成の喜びを体験させる。</p> <p>尚、作品作りは前期、後期で別々の商品作りを目標として完成迄の日程計画を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1週から第2週 (4/14~4/21)  先ず、半年間で何を作り上げたいかの目標値の設定と、設計、アイデアを図面化する。(3日間)</li> <li>第2週から第4週 (4/23~5/7)  電気部品の種類とその機能、図面記号を理解させる。(4日間)</li> <li>第5週から第6週 (5/12~5/21)  自分が作りたい商品の決定。(前期は技術資料の物まね)  必要部品の選定と調達。 又、各種部品の価格相場の調査。  日本橋電気街へ部品調達のため全員で買い物に行く。(4日間)</li> <li>第7週から第13週 (5/26~7/9)  回路図に従って、工具、半田ゴテを使用して作品を作り上げる。</li> <li>第14週から第15週 (7/14~7/21)  完成した段階でその機能、性能を確認させる。</li> <li>第16週から第18週 (9/1~9/17)  上手く作動しない場合はその原因を追及して、それを修復させる。</li> </ol>		

授 業 計 画	<p>7. 第 19 週 (9/22~9/29)</p> <p>最終的に自らがオリジナリティな作品を完成させ、その喜びを体験して、電子工作を作る楽しみを味わってもらおう。</p> <p>部品の調達予算</p> <p>半期、1 作品を完成させる為の部品費用として 2000 円/人以内とする。</p> <p>当初より自作した作品を自宅にて個人使用する事を希望する時は製作に掛った部品代等の費用はすべて個人負担とする。</p>
---------	---